

# 国際教養大学は スーパーグローバル大学創成支援（グローバル化）※ 牽引型に 採択されました

## 「日本発ワールドクラスリベラルアーツカレッジ構想」

10年後の国際教養大学(AIU)

### 日本発ワールドクラスリベラルアーツカレッジへの進化

日本に軸足を据え、世界で活躍する人材育成

#### ワールドクラスになるための4つの教育環境整備

1

##### 24時間リベラルアーツ教育の推進

— 学びあう文化の確立と深化 —

■ 特性・課題

- ・全学生の90%がキャンパスに居住
- ・留学生との混住
- ・協働学修空間とはなっていない
- ・学生からの要望



■ テーマ別ハウス群導入

学生によるテーマ設定プログラム作りと企画運営  
18人が一棟で共同生活  
まずは5棟で立ち上げ  
各棟に共有学習ラウンジ  
例:メディアハウス、日本文化ハウス、Diplomatハウス  
内外の講師陣による講義



- 留学生との協働
- 学期末のテーマ別ハウス発表会
- リーダーシップ力強化

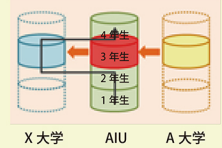
2

##### 世界標準カリキュラム

— 世界標準に向けた科目調整・科目整備 —

■ 特性・課題

- ・全科目英語
- ・留学生と本学学生が同じ授業を履修
- ・主に3年次に海外留学
- ・留学生割合は25%
- ・留学生にとって単位互換可能な講義の質・量の充実



■ 国際標準化による科目群のシームレス化

- ①英語で日本を勉強する日本学修センター  
単位互換可能科目の充実  
日本に留学する動機・意義  
日本を世界に発信するアンバサダー養成
- ②MOOCs導入による講義の国際標準化  
海外トップスクールの講義を本学の  
通常授業に

- ③国際協働PBL  
大学の世界展開力強化事業の進化形
- ④パートナーズプログラム  
海外提携校との協働科目の提供

3

##### 日本の英語教育を改革

— 英語教育における知見の還元 —

■ 特性・課題

- ・全て英語の授業
- ・卒業時 TOEFL の 600 点以上達成率は約 40%
- ・県内外から英語教育への支援要請
- ・アドホックな対応



■ 日本人学生・留学生主導による

イングリッシュビレッジの開講  
上記作業を通じ学生の企画・運営力強化  
留学生との協働によるコミュニケーション力、  
交渉力強化  
英語で英語を教えることによる英語力強化



- 小中高校教員への英語教授法指導（ティーチャーズセミナー）  
来るべき初等教育における英語必修化への対応

- 秋田県「あきた発グローバル人材育成推進事業」と連携  
本学を拠点とする全県的グローバル人材育成の推進  
日本における英語教育のモデル構築

4

##### 国際ベンチマーキング

— 本学の相対・客観的分析 —

■ 特性・課題

- ・大学のグローバル化対応を見据えて設立
- ・全て英語の授業、GPA、コースナンバリング、  
秋入学等
- ・本学の立ち位置を相対化・客観化する作業の  
必要性



- 学内の取組をウィリアム・アンド・メアリー大学等の  
海外トップリベラルアーツカレッジと比較・検証  
カリキュラムの検証  
CLA 結果の分析・比較  
教職員能力強化  
学生支援のあり方



##### 大学の世界展開力強化事業

（応用力、実践力強化）

課題発見 / 解決力、異文化協働力、多角的分析力、交渉力

##### グローバル人材育成推進事業

（学修・教育力強化）

学修支援体制の強化と能動的学修の推進、教員交流による教育力強化

全て英語の講義、1年間の海外留学必修、コースナンバリング、GPA 制度と厳格な留学単位互換管理、  
少人数教育、秋入学、1年生は全寮生活、90%の学生はキャンパス内居住、  
任期制・年俸制、テニュア制、迅速なガバナンス、365日・24時間図書館

※スーパーグローバル大学創成支援（グローバル化牽引型）とは・・・

大学の国際競争力向上と、多様な場でグローバルに活躍できる人材の育成のため、徹底した「大学改革」と「国際化」を断行し、我が国高等教育の国際通用性、ひいては国際競争力強化の実現を図ることを目的とした文部科学省の事業で、これまでの実績を基に先導的試行的に挑戦し、我が国社会のグローバル化を牽引する大学として全国で24大学を採択。